

2026年度 宮崎大学医学部附属病院 (病床数 604) 【2年次】

受入人数	【2年次】1名													
常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇			当直/月	宿舍	社会保険・労働保険等	
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季				年末年始
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤		351,500円/月		0	有	無	平日8:30~17:15		10	有	有	無	有 (月額15,000円)	公的医療保険：国家公務員共済組合 公的年金保険：厚生年金保険 労働者災害補償保険法の適用：有 雇用保険：有

○ 研修診療科 (必修科目) について

科目	研修内容 (手技・症例数・指導医数等)
地域研修 (在宅を含む)	宮崎大学医学部附属病院に所属した上で、大学外の医療施設にて研修を行います。地域医療研修施設は、外科・内科・整形疾患を中心に、少人数体制で診療を行っているのが特徴です。研修内容としては、一般外来での診療、common diseaseの入院症例対応、在宅医療など、幅広い経験を積むことができます。 【研修協力施設】・五ヶ瀬町国民健康保険病院 ・高千穂町国民健康保険病院 ・医療法人社団 晴緑会 宮崎医療センター病院 ・串間市民病院 ・都農町国民健康保険病院 ・医療法人友愛会 野尻中央病院 ・宮崎市立田野病院 ・西都児湯医療センター
一般外来	「地域医療」研修時に実施
外科	大学病院で研修を実施いたします。5分野の中から所属するグループを選択し、グループ診療の一員として診療にあたります。担当する疾患はどの分野を選択するかによって違いはありますが、手術技術のみならず臨床医にとって基本となる検査や治療技術(中心静脈などのルート確保、開胸・開腹・胸骨切開、胃管挿入、カテーテル手技、救命手技など)を習得できる内容となっています。また、合併疾患をお持ちの患者さんも多いため、緻密な周術期管理も学ぶことができます。
小児科	大学病院で研修を実施いたします。血液・腫瘍、アレルギー・免疫・感染・膠原病、循環器、腎・泌尿器、内分泌・代謝、神経・発達、新生児などのsubspecialtyの専門医をもつスタッフとともに症例の診療に取り組みます。積棟や外来での研修を通じて、高度医療、小児救急、プライマリケア、予防医学、小児保健、障害児医療にも積極的に参加できる機会を設けています。
産婦人科	大学病院における周産期医療の研修が中心となりますが、各研修医の希望とニーズに応じていずれかのグループに属して頂きます。グループ診療のため全ての症例を共有し経験することができます。毎週月曜朝には、高次周産期施設と連携し、テレビカンファレンスを行っています。本領域における国内のトップランナーの先生方とディスカッションを行い、最先端の知識を広く確実に得ることができます。研修に必要な分娩症例も経験することが可能です。
精神科	大学病院で研修を実施いたします。統合失調症、気分障害、認知症、不安障害、身体表現性障害、ストレス関連障害、てんかん精神病、児童・思春期の精神障害など、児童から老年、急性期から慢性期まで、多種多様な症例を経験することができます。難治例の治療にも注力しており、治療抵抗性統合失調症に対するクロナズピンや難治性うつ病に対する修正型電気けいれん療法も経験できます。
麻酔科	大学病院の手術部、麻酔科で研修を実施いたします。担当麻酔科医とペアを組み、前日までに担当症例の術前診察を行います。その後上級医と麻酔法を検討しうえで担当日のスーパーバイザーに報告します。麻酔は担当指導医の下で行います。麻酔終了後、上級医と麻酔管理の評価を行います。基本的には全ての症例が経験可能ですが、個々の習熟度に応じて症例を割り当てます。

○ 研修のアピール

<p>★専門研修を見据えた臨床研修 大学病院で研修することで、各診療科の専門研修の実情を間近で学べます。将来の専門医取得に向けた選択に有利です。</p> <p>★大学病院+研修協力施設のハイブリッド研修が可能 大学病院では、複雑な症例や難治例への対応、多角的な専門医の指導を経験できます。研修協力施設では、日常的な疾患 (common disease) の初期対応力を身につけ、マンツーマンの指導を受けられます。</p> <p>★多様な研修フィールドと症例経験 大学病院と各地域の研修協力施設を組み合わせた全国でも屈指の多様な研修環境です。</p> <p>★診療科ごとに病院を選べる柔軟性 研修の組み立ては自分次第。主体的にデザインできる自由度の高いプログラムです。</p> <p>★週末の救命救急センター研修が可能 希望制です。救急専門医とともに勤務し、月最大3回まで担当可能で、時間外手当の支給があります。</p> <p>★1年を通じた教育カリキュラムの充実 講義編 (全18回)、実技編 (全12回)、各科ワンポイントアドバイス編 (全10回) があります。宮崎大学主催の基幹型病院合同Web勉強会もあります。</p> <p>★充実した研修支援制度 学会発表支援 (参加費・旅費等を大学負担) があります。働き方改革に伴う時間外手当 (自己研鑽も対象) があります。</p> <p>★学会発表のチャンスが豊富 臨床研修中に積極的な学会発表の機会を得られます。</p> <p>★優れた「ロールモデル」との出会い 宮大病院群には、臨床・教育・研究いずれにおいても尊敬できる医師が多数在籍しています。</p>
--

今回のプログラムでは、大学病院と地域医療研修が中心となりますが、慶應義塾大学での研修プログラムとは異なる貴重な経験ができると思います。

○ 選択科目について (選択できる診療科)

整形外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科
放射線科	麻酔科	脳神経外科	病理診断科	リハビリテーション科
形成外科	臨床腫瘍科	集中治療部		
備考				

研修実施責任者 小松 弘幸、宮内 俊一

※問い合わせ先

担当部署・担当者名： 卒後臨床研修係 串間

住所： 宮崎県宮崎市清武町木原5200

TEL： 0985-85-1864(直通)

E-mail：sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。